

インフラ・システム海外展開の機動的かつ戦略的な推進を求める（概要）

2013年4月16日
一般社団法人 日本経済団体連合会

- 年間1兆ドル超と推計される世界のインフラ需要を積極的に取り込むとともに、インフラ整備を通じてわが国技術の海外への普及、新興国のビジネス環境の整備を図ることは、わが国成長戦略の重要な柱
- 本年3月に政府が立ちあげた経協インフラ戦略会議とインフラ輸出の主体である民間企業との連携を強化するとともに、わが国インフラの海外展開を後押しし、具体的な受注につながる体制や制度を機動的かつ戦略的に構築し、実践することが求められる

1. 機動的かつ戦略的な推進体制の確立

(1) 経協インフラ戦略会議

- ◇ 財政的視点のみならず、わが国産業の国際競争力強化を含めた幅広い見地からの関係省庁間の合意形成
- ◇ 民間人材の活用等を含む官民連携によるインフラ・システム海外展開の推進
- ◇ わが国企業のインフラ・システムの具体的な受注を通じた、わが国の成長力の強化、資源安全保障等の視点の強化と政府開発援助の戦略的な推進

(2) 執行機関

- ◇ インフラ輸出関連執行機関間の密接な連携
- ◇ 政府の関与を最小限にすることによる案件の採用、審査の簡素化・迅速化（JICA海外投融資案件等）

2. 迅速かつ柔軟な資金供与

(1) ファスト・トラック制度の導入

- ◇ 重点国・地域（ベトナム、インドネシア、ミャンマー等）、重点・有望分野（発電所、港湾、道路、上下水道、スマートコミュニティ、ICT、衛星、環境、防災、医療等）におけるファスト・トラック制度の導入

(2) 円借款の柔軟化

- ◇ 海外インフラ・システム案件の受注を通じたわが国企業の国際貢献との視点に立った円借款の柔軟化
- ◇ 中進国以上への円借款供与、外貨建および現地通貨建供与、STEP適用案件の一層の拡大等
- ◇ 円借款事業およびPPP事業におけるJICA連携DDの実施

(3) 無償資金協力の大型化

- ◇ 予算の拡充ならびに1件あたりの供与額の引き上げ（100億円程度）

(4) JBIC・NEXI等によるリスクテイクの機能強化と適用範囲の拡大

- ◇ JBIC現地通貨建ファイナンスの強化、NEXIの付保対象の拡大等

3. わが国技術・制度の戦略的な普及

(1) 国際標準の獲得とデファクトスタンダードの確立

- ◇ わが国企業が先端技術を有する分野（スマートコミュニティ、電気自動車、都市交通、通信等）における各種技術・規格の国際標準の獲得
- ◇ 技術の海外展開、技術協力や人材育成を通じたわが国技術のデファクトスタンダードの確立

(2) 法制度整備支援

- ◇ わが国法制度を基礎とする技術支援の積極的な推進

(3) 相手国のインフラ関連制度の整備

- ◇ 民間提案型案件を容認するPPP法制やわが国企業の技術力や品質等の非価格的要素を適正に評価する入札評価制度の整備

(4) オフセットメカニズム

- ◇ 二国間オフセットメカニズムの導入促進

4. トップセールスの推進と民間人材の活用

- ◇ わが国の優れたインフラの定着を図るためのトップセールスの展開
- ◇ 重点対象地域・国への人材、資金の集中投入
- ◇ インフラ専門官への民間人の登用など、民間の知見の活用

<重点対象地域・国の例>

アジア（ミャンマー、インドネシア、ベトナム、インド、フィリピン、カンボジア等）、中東（サウジアラビアほか湾岸諸国、トルコ等）、中南米（ブラジル、メキシコ等）、アフリカ（モザンビーク、アンゴラ、ケニア、南アフリカ、タンザニア等）